

うまい!

岩船米づくり情報 No. 4

令和3年7月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター

**本年の出穂期は、早生・コシヒカリとも平年より1日早い予想(6/21現在)
中干しは大ヒビ厳禁！早生の穂肥は1回目重視で遅れずに！**

－ 重点事項 －

- ◎ コシヒカリで中干しが遅れているところは直ちに実施。中干し効果が不十分な場合は、中干しを継続して出穂期1ヶ月前を目安に中干しを終了する。
- ◎ 中干しは、根を傷めないように大ヒビが入るまで乾かさない。
- ◎ 中干し終了後は、急に湛水せず、間断かん水から徐々に飽水管理に移行する。
- ◎ 早生の穂肥は遅れずに、適期・適量の穂肥施用により籾数確保を図る。
- ◎ コシヒカリは、出穂20～40日前頃のケイ酸追肥により稲の体質強化を図る。

1 6月21日現在の生育状況【普及センター調査ほ】

【コシヒカリ】※平均は6地点の水稲作付面積に応じた加重平均

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)			茎数 (本/m ² 、%)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
山北/大毎	5/9	38	103	103	425	113	121	9.1	+1.1	+0.7	40.4	+2.4	-0.3
朝日/川端	5/11	41	100	108	534	144	93	9.7	+0.9	+0.9	40.5	+1.5	-1.8
村上/鋳物師	5/16	36	94	108	474	113	116	9.4	+0.9	+1.4	40.3	+3.3	-0.3
神林/牛屋	5/10	40	114	103	412	110	76	8.9	+0.7	-0.7	35.0	-1.5	-2.9
荒川/名割	5/14	36	109	120	459	184	156	8.8	+0.8	+1.0	38.4	+0.4	+1.2
関川/下関	5/11	35	106	108	341	122	153	8.4	+0.3	+0.6	35.8	-3.2	0.0
平均	5/11	38	105	108	448	134	114	9.1	+0.7	+0.5	38.0	+0.1	-1.0

【こしいぶき】

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)			茎数 (本/m ² 、%)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
神林/牛屋	5/5	41	132	102	588	184	117	9.4	+0.9	+1.0	37.6	+2.4	-1.0

2 6月21日現在の出穂期予想 ～平年より1日程度早い見込み～

熟期 (田植時期)	品種名	出穂期 (予想)	穂肥時期(出穂前日数)				合計施肥量 (チツ kg/10a)
			1回目		2回目		
早生 (5/5頃)	五百万石	7月24日	7/4	(20)	7/12	(12)	1～2
	こしいぶき	7月29日	7/6	(23)	7/15	(14)	2～3
中生 (5/10頃)	こがねもち	8月1日	7/14～7/17	(18～15)	7/22	(10)	1～3
	コシヒカリ	8月8日	7/21～7/24	(18～15)	7/29	(10)	1～3

※出穂期は、気象条件で大きく変動するので、今後の情報に注意するとともに、穂肥の施用に当たっては、各ほ場の幼穂を必ず確認して施用しましょう。

※施肥量は一般栽培の目安であり、生育状況に応じて時期や量を調整しましょう。

3 中干し終了後の水管理 ～大ヒビ厳禁！ 間断かん水から飽水管理へ～

- 乾かしすぎて大きなヒビが入ると根を傷めたり、水持ちが悪くなります。夏場の水不足に備えて、中干しは田面に小ヒビが入る程度で終了しましょう。
- 中干しは遅くとも出穂1か月前までに終了しましょう。終了時期が遅れると根量が少なくなり、出穂後の葉色低下が大きく、品質低下を招きます。
- 中干し終了後は浅水の間断かん水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化及び地耐力の維持に努めましょう。
- 幼穂形成期以降は、飽水管理としましょう。飽水管理とは、「自然減水で、田面の水が溝や足跡の底に水がたまっている箇所が散見される状態になったら灌水する方法」です。



小ヒビが入るくらいで終了



大ヒビが入るまで乾かささない！

4 早生品種の穂肥施用のポイント ～遅れず適期に施用～

- 早生品種の1回目の穂肥施用は、収量確保のため適期を逃さず確実に実施しましょう。
- 生育量が極端に大きく倒伏が懸念される場合などは、遅め控えめの対応としましょう。

穂肥の効果

出穂前日数	10日以内	10～15日	20～30日	30～35日
一穂粒数増加	×	○	◎	×
登熟の良好化	◎	◎	○	×

幼穂長と出穂前日数の目安

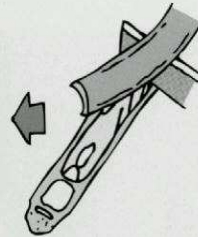
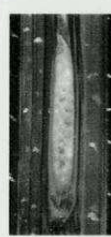
出穂前日数(日)	幼穂長(cm)
24	0.1
20	0.2～0.4
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0

- ※ ほ場内の平均的な株の最も長い茎から3～4本を抜き取り測定する。
- ※ 数株から採取し総合的に判断する。

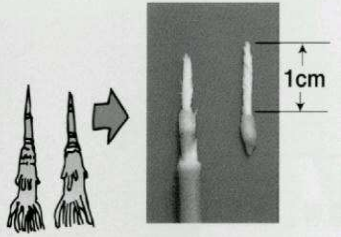
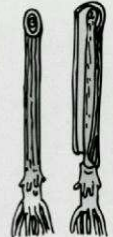
幼穂長の確認方法

【幼穂の長さを確認する】

〈その1 カッターなどで割る〉



〈その2 葉鞘をむく〉



(参考) 出穂前日数とイネの外観

24日前	次葉(止葉の下の葉)抽出開始
18日前	止葉抽出開始

5 コシヒカリのケイ酸追肥 ～猛暑に負けない稲づくり！～

- 水稲は、幼穂形成期以降にケイ酸の吸収量が急激に増加します。
- 気象変動に強い稲体づくりには、出穂前のケイ酸追肥が有効です。
- 出穂20～40日前に、ケイ酸肥料を追肥し、稲の体質強化と根の健全化を図りましょう。

〔例〕けい酸加里プレミア 34
の場合：20～40kg/10a〕



おいしい岩船米を目指してガンバロー！

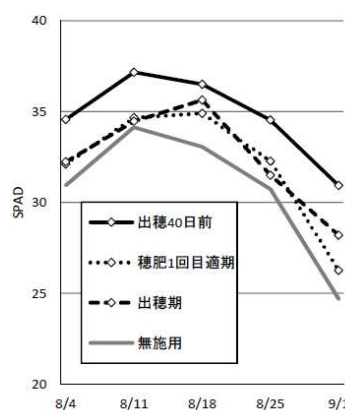


図 1 ケイ酸追肥時期別の登熟期 SPAD の推移 (H26)

ケイ酸追肥で登熟期の葉色維持

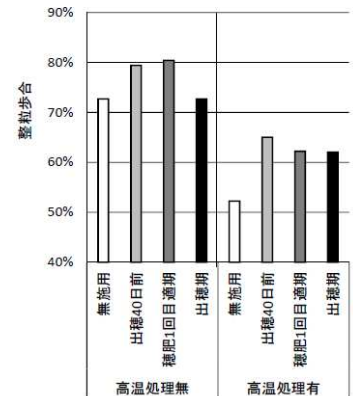


図 2 ケイ酸追肥時期別の整粒歩合 (H26、27)

ケイ酸追肥で高温登熟でも整粒歩合が高い